



セゾン投信

4 月度の市場動向について

長期投資家の皆さまへ

コロナパンデミックは感染者が世界で 300 万人を超え、米欧では拡大がピークを迎えているようです。早晩米欧がピークアウトしても、ワクチンや処方薬の一般化が完全収束の着地点になるとすれば、それまでの感染第二波・第三波への懸念も暫し続くと考えられ、まだまだ予断を許しません。改めて、今回の感染症はリーマンショックをも上回る戦後最大の経済危機をもたらしたと言えましょう。

従って、経済活動の完全平常化には年を越えるほどの期間を未だ要するかもしれませんが、金融市場の現状は3月の動揺と混乱のカオスの暴落から一転、株式市場ではざっと下落幅の半値戻し水準にまで価格は回復して、マーケットは早期の段階的な経済活動再開を期待していると言えましょうか。

とは言えコロナ感染は未だわからぬことばかりで、金融市場はまだまだ不確実な悲観と楽観の交錯から短期的な価格の上下が続くと想定しておいた方がいいでしょう。長期投資家は引き続き、目先の相場動向に揺さぶられず、淡々と投資行動を継続することが肝要です。

それと同時に、やがて訪れるコロナ終息とコロナ後の経済構造を見据えておくことも長期投資家にとって大切なことです。それは米欧日先進諸国が軒並み投入した巨額の財政支出と未曾有のスケールの金融緩和が、实体经济の活動再開以降その回復速度を加速させる可能性と共に、私たちが現在体験している様々な行動制約がコロナ後の新たなライフスタイルや働き方の変化につながる。即ちインターネットなどの IT の社会生活基盤への更なる浸透や医療システムの加速度的進化などをはじめとした、あらゆる産業に構造変化をもたらすニューパラダイム経済の到来なども、長期投資家目線でなら予感出来ることでしょう。

危機は次なる進化と発展成長の土台になる。これは歴史的事実であり、将来への楽観を前提に強い意志を持って長期投資を続けていただきたいと思います。

代表取締役社長 中野 晴啓

今月の市場動向

世界の株式市場についての概況

世界の株式市場は、上昇しました。

序盤、全世界で新型コロナウイルスの感染者数が 100 万人を超えるなか、米 ISM 製造業景況指数や米雇用統計の結果を受けて新型コロナウイルスの感染拡大による経済への打撃が予想以上に速いペースで広がっているとの懸念が高まり、下落しました。

中盤にかけて、米ニューヨーク州や欧州で新型コロナウイルスの感染拡大に鈍化の兆しが見られたほか、米連邦準備制度理事会（FRB）が最大 2.3 兆ドルを供給する新たな措置を発表したことを受けて上昇しました。

中盤、国際通貨基金（IMF）が世界経済は 1930 年代の大恐慌以来で最悪の景気後退に陥る可能性があるとの見方を示したことで下落する局面はあったものの、米国で早期に経済活動が再開されるとの期待が高まったことを受けて上昇基調が継続しました。

終盤にかけて、新型コロナウイルスによる経済活動の縮小を背景に原油に対する需要が減少し、原油在庫が過剰に積みあがったことを受けて原油の先物価格が史上初めてマイナスとなり、リスク回避の姿勢が強まって下落しました。

終盤、米国やユーロ圏で 1-3 月期国内総生産（GDP）が大幅に減少したことが示されたものの、米ギリアド・サイエンシズが新型コロナウイルス治療薬の有効性を調べる米国の臨床試験で肯定的な結果が得られたと発表したことなどを受けて上昇しました。

4 月度の商品価格の動向

	終値	騰落率
NY 原油先物（WTI/直近限月）/1 バレル	18.84	-8.01%
NY 金先物（中心限月）/1 トロイオンス	1694.2	+6.11%

国際通貨基金（IMF）は新型コロナウイルスの世界的な感染拡大の影響により 2020 年の世界経済が 3%縮小し、2008 年から 2009 年の金融危機の時よりも深刻な落ち込みとなるとの見通しを示しました。

当資料は受益者へ向けた運用状況の開示ならびにファンドの紹介を目的としてセゾン投信株式会社によって作成された資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。お申込みにあたっては、セゾン投信からお渡しする投資信託説明書（交付目論見書）の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。

当資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。当資料は信頼できると判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性等を保証するものではありません。当資料中のグラフ・数値等は、過去の実績・状況であり、将来の市場環境等や運用成果等を示唆・保証するものではありません。また、税金・手数料等を考慮しておりませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。

米国株式

米国の株式市場は、上昇しました。

序盤、ISM 製造業景況指数が一段と低下したほか、雇用統計で失業率の上昇や雇用者数の急減が示されたことで新型コロナウイルスの感染拡大による経済への打撃が予想以上に速いペースで広がっているとの懸念が高まり、下落しました。

中盤にかけて、ニューヨーク州で新型コロナウイルスの感染拡大に鈍化の兆しが見られたほか、連邦準備制度理事会（FRB）が最大 2.3 兆ドルを供給する新たな措置を発表したことを受けて上昇しました。

中盤、大手銀行の決算で収益の減少が示されたほか、小売売上高が大幅に減少したものの、トランプ大統領が州政府に向けて段階的な経済活動再開の指針を打ち出したことを受けて上昇基調が継続しました。

終盤にかけて、新型コロナウイルスによる経済活動の縮小を背景に原油に対する需要が減少し、原油在庫が過剰に積みあがったことを受けて原油の先物価格が史上初めてマイナスとなり、リスク回避の姿勢が強まって下落しました。その後、中小企業救済融資プログラムの増額などを含む 4840 億ドルの包括的救済法案が成立したことなどを受けて下落幅を縮小しました。

終盤、1-3 月期国内総生産が前期比年率マイナス 4.8% の大幅減となったものの、連邦公開市場委員会（FOMC）でゼロ金利政策や債券購入を通じた資金供給措置の継続が改めて示されたほか、ギリアド・サイエンシズが新型コロナウイルス治療薬の有効性を調べる臨床試験で肯定的な結果が得られたと発表したことなどを受けて上昇しました。

4 月度の主要指数の概況

	終値	月間騰落率
ダウ・ジョーンズ工業株価平均（米ドル）	24345.72	+11.08%
S&P500（米ドル）	2912.43	+12.68%
ナスダック総合指数（米ドル）	8889.551	+15.45%

2020 年 3 月の小売売上高は、新型コロナウイルス感染拡大による影響で衣料品、家具、飲食店の売り上げが大きく落ち込み、前月比でマイナス 8.7% と 1992 年の統計開始以来最大の下落幅となりました。

当資料は受益者へ向けた運用状況の開示ならびにファンドの紹介を目的としてセゾン投信株式会社によって作成された資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。お申込みにあたっては、セゾン投信からお渡しする投資信託説明書（交付目論見書）の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。

当資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。当資料は信頼できると判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性等を保証するものではありません。当資料中のグラフ・数値等は、過去の実績・状況であり、将来の市場環境等や運用成果等を示唆・保証するものではありません。また、税金・手数料等を考慮していませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。

欧州株式

欧州の株式市場は、上昇しました。

序盤、欧州保険・年金監督局（EIOPA）が保険会社に対し、流動性確保のために配当と自社株買いを停止するよう要請したことを受けて金融関連株を中心に下落しました。

中盤にかけて、フランスやイタリア、スペインなどで新型コロナウイルスの感染拡大に鈍化の兆しが見られたほか、米連邦準備制度理事会（FRB）が新たな資金供給措置を発表したことを受けて上昇しました。

中盤、国際通貨基金（IMF）が世界経済は 1930 年代の大恐慌以来で最悪の景気後退に陥る可能性があるとの見方を示したものの、米国で早期に経済活動が再開されるとの期待が高まって反発し、ほぼ横ばいとなりました。

終盤にかけて、原油価格が急落してリスク回避の姿勢が強まったほか、欧州連合（EU）首脳が 1 兆ユーロ規模の緊急基金を設立することで合意したものの、詳細は持ち越されたことを受けて下落しました。

終盤、欧州中央銀行（ECB）理事会が決定した追加の金融緩和が市場の期待ほど大規模ではなかったほか、ユーロ圏の 1-3 月期国内総生産が前年比マイナス 3.3% の大幅減となったものの、米ギリアド・サイエンシズが新型コロナウイルス治療薬の有効性を調べる米国の臨床試験で肯定的な結果が得られたと発表したことなどを受けて上昇しました。

4 月度の主要指数の概況

	終値	月間騰落率
独 DAX 指数（ユーロ）	10861.64	+9.32%
仏 CAC 指数（ユーロ）	4572.18	+4.00%
英 FT100 指数（英ポンド）	5901.21	+4.04%
スイス SMI 指数（スイスフラン）	9629.40	+3.41%
MSCI Europe 指数（ユーロ）	113.66	+5.85%

欧州連合（EU）は新型コロナウイルスで打撃を受けた経済の復興を支援するため、1 兆ユーロ規模の基金を創設することで合意したものの、資金の返済義務を巡り各国の意見が分かれています。

4 月度の市場動向について

日本株式

国内の株式市場は、上昇しました。

序盤、日銀短観で業況判断指数が大きく低下して企業心理の急速な冷え込みが示されたほか、東京都で新型コロナウイルスの感染者が増加したことを受けて政府が緊急事態宣言に踏み切る可能性が高まり、下落しました。

中盤にかけて、国内で新型コロナウイルスの感染拡大に対する懸念が高まり、日本政府が7都府県に緊急事態宣言を発令したものの、同時に108兆円規模の経済対策が発表されたほか、米連邦準備制度理事会（FRB）が新たな資金供給措置を発表したことを受けて上昇しました。

中盤、国際通貨基金（IMF）が世界経済は1930年代の大恐慌以来で最悪の景気後退に陥る可能性があるとの見方を示したことで下落する局面はあったものの、米国で早期に経済活動が再開されるとの期待が高まり上昇しました。

終盤にかけて、緊急事態宣言が全国に拡大されたことを受けて国内景気や企業業績に対する懸念が高まったほか、原油価格の急落を受けてリスク回避の姿勢が強まり下落しました。

終盤、日本銀行が社債などの買い入れ額の増額、中小企業向け資金繰り支援策の拡充、国債購入額の上限撤廃からなる追加の金融緩和を決定したほか、米ギリアド・サイエンシズが新型コロナウイルス治療薬の有効性を調べる米国の臨床試験で肯定的な結果が得られたと発表したことなどを受けて上昇しました。

4 月度の主要指数の概況

	終値	月間騰落率
日経平均株価指数（円）	20193.69	+6.75%
TOPIX[東証株価指数]	1464.03	+4.35%
MSCI Japan 指数（円）	886.10	+4.40%

2020年3月の貿易統計では、新型コロナウイルス感染拡大の影響で、幅広い地域に対して自動車などの輸出が大幅に減少したことが確認され、景気の先行きに対する不透明感が強まっています。

太平洋株式（日本を除く）

太平洋地域（日本を除く）の株式市場は、上昇しました。

序盤、中国の製造業購買担当者景気指数（PMI）が大幅に上昇したことを受けてオーストラリアの株式市場を中心に上昇する局面はあったものの、欧米の株式市場が下落したことがマイナス要因となり、ほぼ横ばいとなりました。

中盤にかけて、米国や欧州で新型コロナウイルスの感染拡大に鈍化の兆しが見られたほか、香港政府が新型コロナウイルスで打撃を受けている企業への給料支払い補助を柱とする雇用支援策を発表したことを受けて上昇しました。

中盤、国際通貨基金（IMF）が世界経済は1930年代の大恐慌以来で最悪の景気後退に陥る可能性があるとの見方を示したことで下落する局面はあったものの、米国で早期に経済活動が再開されるとの期待が高まり上昇しました。

終盤にかけて、原油価格の急落を受けてリスク回避の姿勢が強まり、オーストラリアの株式市場を中心に下落しました。香港の株式市場は、香港の行政長官が新型コロナウイルスの感染拡大を抑制のための社会的距離（ソーシャル・ディスタンス）政策を5月7日まで14日間延長すると明らかにしたこともマイナス要因となりました。

終盤、香港の行政長官が段階的な公務員の職場復帰や図書館などの再開を5月4日から行うと明らかにしたほか、米ギリアド・サイエンシズが新型コロナウイルス治療薬の有効性を調べる米国の臨床試験で肯定的な結果が得られたと発表したことなどを受けて上昇しました。

4 月度の主要指数の概況

	終値	月間騰落率
MSCI Pacific ex-Japan 指数（米ドル）	1114.15	+11.68%
S&P/ASX200 指数（豪ドル）	5522.353	+8.78%
香港ハンセン指数（香港ドル）	24643.59	+4.41%
シンガポール ST 指数（シンガポールドル）	2624.23	+5.76%

オーストラリアの2020年4月の消費者信頼感指数は、新型コロナウイルスの影響により前月比で47年前の算出開始以来最も大きく低下し、同国経済が最後に景気後退に陥っていた1991年以来の低水準となりました。

当資料は受益者へ向けた運用状況の開示ならびにファンドの紹介を目的としてセゾン投信株式会社によって作成された資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。お申込みにあたっては、セゾン投信からお渡しする投資信託説明書（交付目録見書）の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。

当資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。当資料は信頼できると判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性等を保証するものではありません。当資料中のグラフ・数値等は、過去の実績・状況であり、将来の市場環境等や運用成果等を示唆・保証するものではありません。また、税金・手数料等を考慮しておりませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。

4 月度の市場動向について

新興国株式

新興国の株式市場は、上昇しました。

序盤、中国の製造業購買担当者景気指数（PMI）が大幅に上昇したことを受けて中国の株式市場は底堅く推移したものの、全世界で新型コロナウイルスの感染者数が 100 万人を超えるなど、感染拡大に対する警戒が継続するなかで軟調に推移しました。インドの株式市場は、外出禁止令が実施されているなか、新型コロナウイルスの感染者数の増加が継続したことを受けて大幅に下落しました。

中盤にかけて、米国や欧州で新型コロナウイルスの感染拡大に鈍化の兆しが見られるなか、中国人民銀行（中央銀行）が中小銀行向けの預金準備率引き下げを発表したほか、米連邦準備制度理事会（FRB）が新たな資金供給措置を発表したことを受けて上昇しました。

中盤、国際通貨基金（IMF）が世界経済は 1930 年代の大恐慌以来で最悪の景気後退に陥る可能性があるとの見方を示したほか、中国の 1-3 月期国内総生産（GDP）が 1992 年の統計開始以来初めて縮小したものの、中国人民銀行が政策金利の 1 つである中期貸出制度（MLF）の 1 年物金利を引き下げたほか、米国で早期に経済活動が再開されるとの期待が高まり上昇しました。韓国の株式市場は、韓国銀行（中央銀行）が流動性懸念への対応として証券会社向けの新たな資金貸し出しの枠組みを創設すると発表したこともプラス要因となりました。

終盤にかけて、中国人民銀行が銀行の貸出金利の指標となる最優遇貸出金利を引き下げたものの、新型コロナウイルスによる経済活動の縮小を背景に原油に対する需要が減少し、原油在庫が過剰に積みあがったことを受けて原油の先物価格が史上初めてマイナスとなり、リスク回避の姿勢が強まったことを受けてロシアの株式市場などを中心に下落しました。ブラジルの株式市場は、元判事でブラジルの反汚職捜査を指揮していたモロ法務・公安相が辞任したことを受けてブラジルの政治リスクに対する警戒が高まり大幅に下落しました。

終盤、中国の工業利益が大幅に減少したものの、米ギリアド・サイエンシズが新型コロナウイルス治療薬の有効性を調べる米国の臨床試験で肯定的な結果が得られたと発表したことなどを受けて堅調に推移しました。

4 月度の主要指数の概況

	終値	月間騰落率
MSCI Emerging 指数（米ドル）	924.94	+9.00%
ブラジルボベスパ指数（ブラジルリアル）	80505.9	+10.25%
中国上海総合指数（中国元）	2860.082	+3.99%
韓国総合株価指数（韓国ウォン）	1947.56	+10.99%
台湾加権指数（台湾ドル）	10992.14	+13.23%
ロシア RTS 指数（米ドル）	1125.03	+10.90%
S&P/BSE SENSEX 指数（インドルピー）	33717.62	+14.42%
南アフリカ全株指数（南アフリカランド）	50336.72	+13.14%

中国の 2020 年 1-3 月期の国内総生産（GDP）は、新型コロナウイルス感染拡大の影響により前年同期比でマイナス 6.8%となり、四半期ごとの統計が公表されるようになった 1992 年以来初めて縮小しました。

当資料は受益者へ向けた運用状況の開示ならびにファンドの紹介を目的としてセゾン投信株式会社によって作成された資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。お申込みにあたっては、セゾン投信からお渡しする投資信託説明書（交付目論見書）の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。

当資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。当資料は信頼できると判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性等を保証するものではありません。当資料中のグラフ・数値等は、過去の実績・状況であり、将来の市場環境等や運用成果等を示唆・保証するものではありません。また、税金・手数料等を考慮しておりませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。

4 月度の市場動向について

世界の債券市場についての概況

米国の債券市場は、上昇しました（金利は低下）。経済指標で米国経済の減速が示されたほか、米連邦準備制度理事会（FRB）が大型の資金供給措置を決定したことなどを受けて上昇しました。ユーロ圏の債券市場は、上昇しました（金利は低下）。イタリアなどが求めているユーロ圏共同債の実現は難しいとの見方からイタリア国債などを中心に下落する局面はあったものの、欧州中央銀行（ECB）の追加の金融緩和に対する期待を背景に上昇しました。日本の債券市場は、上昇しました（金利は低下）。新型コロナウイルスの感染拡大に対する懸念が継続したほか、日本銀行が追加の金融緩和を決定したことなどを受けて底堅く推移しました。

米国債券市場（国債）

米国の債券市場は、上昇しました（金利は低下）。

序盤、ISM 製造業景況指数や雇用統計の低調な結果を受けて新型コロナウイルスの感染拡大による経済への打撃に対する懸念が高まり、リスク回避の姿勢が強まって上昇しました。中盤にかけて、連邦準備制度理事会（FRB）が社債の買い入れなどを通じて最大 2.3 兆ドルを供給する新たな措置を発表したものの、ニューヨーク州などで新型コロナウイルスの感染拡大に鈍化の兆しが示されたことを受けて下落しました。中盤、トランプ大統領が州政府に向けて段階的な経済活動再開の指針を打ち出したものの、小売売上高が大幅に減少したほか、住宅関連の指標などが悪化したことを受けて上昇しました。終盤にかけて、原油価格の急落を受けてリスク回避の姿勢が強まったほか、新型コロナウイルス治療薬の臨床試験結果がふるわなかったことを受けて底堅く推移しました。終盤、連邦公開市場委員会（FOMC）でゼロ金利政策や債券購入を通じた資金供給措置の継続が改めて示されたものの、新型コロナウイルス治療薬の臨床試験で肯定的な結果が発表されたことなどを受けてリスク回避の姿勢が和らぎ、下落しました。

4 月度の長期金利の状況

	利回り	前月比
米 10 年国債	0.639%付近	-0.031%

欧州債券市場（国債）

ユーロ圏の債券市場は、上昇しました（金利は低下）。

序盤、アイルランドなどの国債発行を受けて国債の増発に対する警戒が高まり、やや軟調に推移しました。中盤にかけて、欧州で新型コロナウイルスの感染拡大に鈍化の兆しが見られたことを受けて軟調な展開が継続しました。中盤、国際通貨基金（IMF）が世界経済は 1930 年代の大恐慌以来で最悪の景気後退に陥る可能性があるとの見方を示したことを受けて堅調に推移しました。終盤にかけて、欧州連合（EU）首脳会議でイタリアなどが求めているユーロ圏共同債の実現は難しいとの見方が広がり、イタリアなどの南欧債を中心に下落したものの、欧州中央銀行（ECB）が緊急理事会で資金供給の際に受け入れる担保の一段の条件緩和を決定したことを受けて格下げが懸念されていたイタリアなどの南欧債を中心に反発し、ほぼ横ばいとなりました。終盤、格付け会社 S&P グローバルがイタリアの格付けを据え置いたことを受けてイタリア国債が上昇したほか、欧州中央銀行（ECB）のラガルド総裁が必要に応じて資金供給のための債券購入プログラムの拡大や延長を行う用意があると述べたことを受けて上昇しました。

4 月度の長期金利の状況

	利回り	前月比
独 10 年国債	-0.586%付近	-0.115%

日本債券市場（国債）

日本の債券市場は、上昇しました（金利は低下）。

新型コロナウイルスの感染拡大に対する懸念が継続したほか、原油価格が急落したことなどを受けてリスク回避の姿勢が強まり、底堅く推移しました。日本銀行が国債を無制限で買い入れることが可能になる追加の金融緩和を決定したこともプラス要因となりました。

4 月度の長期金利の状況

	利回り	前月比
日 10 年国債	-0.030%付近	-0.052%

当資料は受益者へ向けた運用状況の開示ならびにファンドの紹介を目的としてセゾン投信株式会社によって作成された資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。お申込みにあたっては、セゾン投信からお渡しする投資信託説明書（交付目論見書）の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。

当資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。当資料は信頼できると判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。当資料中のグラフ・数値等は、過去の実績・状況であり、将来の市場環境等や運用成果等を示唆・保証するものではありません。また、税金・手数料等を考慮しておりませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。

4 月度の市場動向について

世界の為替市場についての概況

為替市場では、新型コロナウイルスの感染拡大に対する懸念や原油価格の急落を受けて比較的安全な通貨としてドルが上昇する局面はあったものの、米連邦準備制度理事会（FRB）が新たな資金供給措置を発表したほか、複数の主要国が新型コロナウイルスの感染拡大を抑制するための封鎖措置を和らげるとの期待が高まるなかでリスク回避の姿勢が和らぎ、ドルは終盤に下落しました。ユーロは、ユーロ圏の景気の先行きに対する懸念が継続するなかで軟調に推移し、対ドルで下落しました。

円は、新型コロナウイルスの感染拡大に対する懸念が継続するなか、原油価格が急落したことを受けて堅調に推移しました。

ドル・円

円はドルに対して上昇し、円高ドル安となりました。

序盤、米 ISM 製造業景況指数が低下したほか、米雇用統計で失業率の上昇や雇用者数の急減が示されたものの、リスク回避の姿勢が強まったことを受けて比較的安全な通貨としてドルへの強い需要が継続し、円安ドル高の展開となりました。中盤にかけて、米連邦準備制度理事会（FRB）が新たな資金供給措置を発表したことを受けてドルが下落し、円高ドル安の展開となりました。中盤、米国や欧州で新型コロナウイルスの感染拡大に鈍化の兆しが見られたほか、トランプ米国大統領が州政府に向けて段階的な経済活動再開の指針を打ち出したことを受けてリスク回避の姿勢が後退し、ドルが軟調に推移したことで円高ドル安の展開が継続しました。終盤にかけて、原油の先物価格が史上初めてマイナスとなったことを受けてリスク回避の姿勢が強まり、ドルへの需要が再び高まったことで円安ドル高となる局面はあったものの、その後、原油価格が持ち直すなかでドルがやや軟調となったことで円高ドル安となり、ほぼ横ばいで推移しました。終盤、米ギリアド・サイエンシズが新型コロナウイルス治療薬の有効性を調べる米国の臨床試験で肯定的な結果が得られたと発表したことを受けてリスク回避の姿勢が和らぎ、ドルが下落したことを受けて円高ドル安の展開となりました。

ユーロ・円

円はユーロに対して上昇し、円高ユーロ安となりました。

序盤、ユーロ圏の購買担当者景気指数（PMI）の改定値が速報値から下方修正されたことを受けてユーロが下落し、円高ユーロ安の展開となりました。中盤にかけて、米国や欧州で新型コロナウイルスの感染拡大に鈍化の兆しが見られたことを受けて円が下落し、円安ユーロ高の展開となりました。中盤、国際通貨基金（IMF）が世界経済は 1930 年代の大恐慌以来で最悪の景気後退に陥る可能性があるとの見方を示したことを受けて円が上昇し、円高ユーロ安の展開となりました。終盤にかけて、欧州連合（EU）首脳が新型コロナウイルスで打撃を受けた経済の復興を支援する 1 兆ユーロ規模の緊急基金を設立することで合意したものの、詳細は持ち越されたほか、ユーロ圏の購買担当者景気指数（PMI）やドイツの IFO 企業景況感指数が一段と低下したことを受けてユーロが下落し、円高ユーロ安の展開が継続しました。終盤、米ギリアド・サイエンシズが新型コロナウイルス治療薬の有効性を調べる米国の臨床試験で肯定的な結果が得られたと発表したことを受けてリスク回避の姿勢が和らぎ、ドルが下落したことを受けてユーロが対ドルで上昇し、円安ユーロ高の展開となりました。

4 月度の概況

	レート*	月間騰落率
円／ドル	107.18	-0.33%（円高）
円／ユーロ	117.42	-1.03%（円高）
ユーロ／ドル	1.0955	-0.69%（ユーロ安）

*レートは月末の米国東部標準時間 17 時のものです。

当資料は受益者へ向けた運用状況の開示ならびにファンドの紹介を目的としてセゾン投信株式会社によって作成された資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。お申込みにあたっては、セゾン投信からお渡しする投資信託説明書（交付目論見書）の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。

当資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。当資料は信頼できると判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性等を保証するものではありません。当資料中のグラフ・数値等は、過去の実績・状況であり、将来の市場環境等や運用成果等を示唆・保証するものではありません。また、税金・手数料等を考慮しておりませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。

セゾン資産形成の達人ファンド 4 月度運用レポート

販売用資料
2020.5.8

「セゾン資産形成の達人ファンド」
運用概況（2020年4月30日現在）

今月のマーケット

【株式市場】 金融市場の混乱への警戒が和らいだほか、経済活動の再開への期待が高まったことを受けて上昇

経済活動は引き続き大きく抑制されているものの、政府や中央銀行による大規模な経済支援策が打ち出されたことを背景に金融市場の混乱への警戒が和らいだほか、世界各地で経済活動の再開を模索する動きが見られたことで、先行きに対する悲観的な見方が後退して上昇しました。

【為替市場】 ユーロが下落しドルが軟調な展開となるなかで、円はやや堅調に推移し、対ドル、対ユーロで円高

ユーロが域内景気の減速に対する懸念が一段と高まったことを受けて下落し、ドルは大規模な資金供給措置が打ち出されたほか、金融緩和の長期化観測が一段と高まったことを受けて軟調な展開となりました。一方で金融緩和の拡大余地が限られている円はやや堅調に推移しました。

今月の投資スタンス

今月は、定期積立プランなどのご購入により皆さまからお預かりした資金を利用して、コムジェスト・エマージングマーケット・ファンド、バンガード米国オポチュニティファンド、コムジェスト・ヨーロッパ・ファンド、BBH・コア・セレクト・ファンド、コムジェスト日本株式ファンド、アライアンス・バーンスタイン・米国株式集中投資ファンド、スパークス・集中投資・日本株ファンドへの投資を行いました。なお、現金比率は前月から上昇し、月末時点で約 1.9%です。

当資料は受益者へ向けた運用状況の開示ならびにファンドの紹介を目的としてセゾン投信株式会社によって作成された資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。お申込みにあたっては、セゾン投信からお渡しする投資信託説明書（交付目論見書）の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。

当資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。当資料は信頼できると判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。当資料中のグラフ・数値等は、過去の実績・状況であり、将来の市場環境等や運用成果等を示唆・保証するものではありません。また、税金・手数料等を考慮しておりませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。

ファンドマネジャーからの一言

新型コロナウイルスの感染拡大を抑制するための移動や接触の制限などの取り組みは、短期的な経済活動の落ち込みをもたらすばかりでなく、長期的にも行動様式の変化などを通じて経済に影響を与えていくものと思われます。しかし、その影響は悪いものばかりでなく、前向きな変化も生まれてくることが想定されます。

現在のような先行きが不透明な状況においても、価値に対して割安な株式への投資を継続していくことが長期的な資産形成につながるの考えに変わりはなく、人々の行動様式の変化などがもたらす企業価値への影響にも注意を払いながら、目の前の出来事に過剰に反応することなく、これまでの運用方針を維持してまいります。

当ファンドでは引き続き、幅広い地域への分散を意識して資産配分を行うと共に、投資先ファンドを通じて、安全性や長期的な収益力を基準に銘柄の選別を行い、短期的な価格の動きではなく投資対象の価値を重視して株式投資を行うことでリスクを抑えながら、皆さまの長期的な投資を通じた資産形成のお役に立てるように努めてまいります。

運用部長 瀬下 哲雄

セゾン資産形成の達人ファンド 4 月度運用レポート

 販売用資料
2020.5.8

I : ファンドの基準価額と純資産総額の推移

2020年4月30日現在の基準価額と純資産総額及び騰落率

基準価額	20,053円
純資産総額	855.4億円

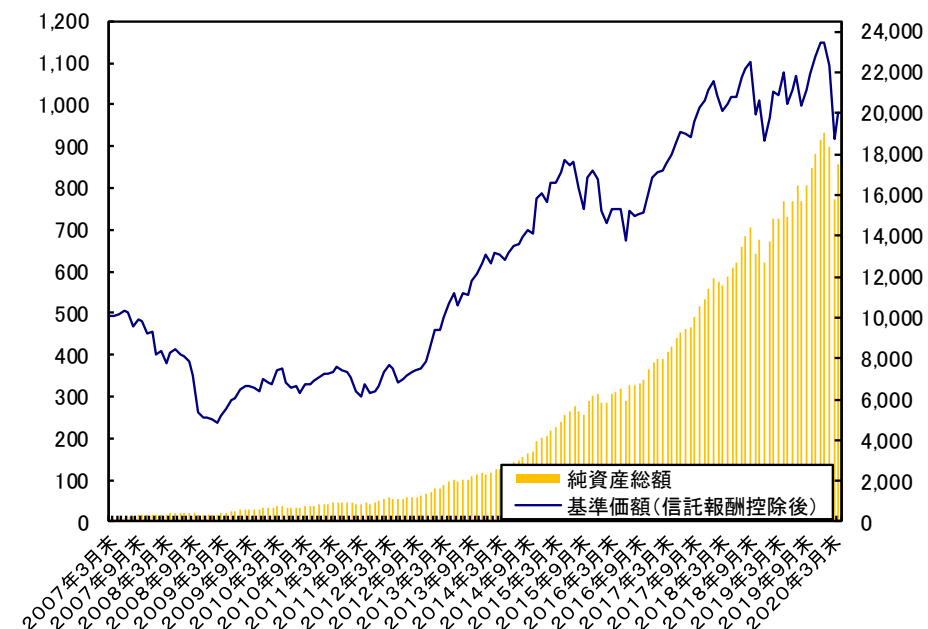
設定来騰落率	100.53%
過去1ヶ月間の騰落率	7.14%
過去6ヶ月間の騰落率	-8.59%
過去1年間の騰落率	-8.89%
過去3年間の騰落率	11.64%

*基準価額は信託報酬控除後の数値です。騰落率は小数点第3位を四捨五入しています。

基準価額のハイライト（設定から2020年4月30日まで）

	基準価額	日付
設定来安値	4,601	2009年3月11日
設定来高値	24,506	2020年2月21日

純資産総額(億円) 基準価額と純資産総額の推移(設定来/月次) 基準価額(円)



当資料は受益者へ向けた運用状況の開示ならびにファンドの紹介を目的としてセゾン投信株式会社によって作成された資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。お申込みにあたっては、セゾン投信からお渡しする投資信託説明書（交付目論見書）の内容を必ずご確認ください。ご自身でご判断ください。

当資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。当資料は信頼できると判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性等を保証するものではありません。当資料中のグラフ・数値等は、過去の実績・状況であり、将来の市場環境等や運用成果等を示唆・保証するものではありません。また、税金・手数料等を考慮しておりませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。

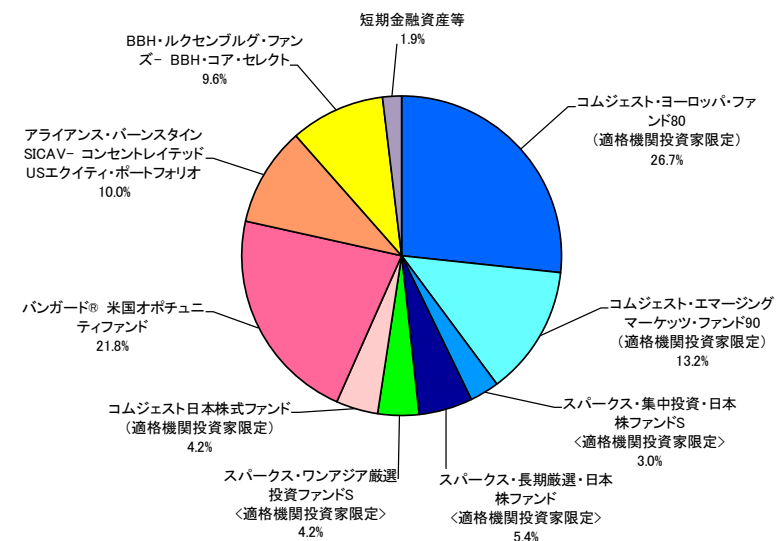
セゾン資産形成の達人ファンド 4月度運用レポート

Ⅱ：ファンド資産の状況（2020年4月30日現在）

投資先ファンド別資産配分状況

ファンド名称	比率
コムジェスト・ヨーロッパ・ファンド80 (適格機関投資家限定)	26.7%
コムジェスト・エマージングマーケット・ファンド90 (適格機関投資家限定)	13.2%
スパークス・集中投資・日本株ファンドS <適格機関投資家限定>	3.0%
スパークス・長期厳選・日本株ファンド <適格機関投資家限定>	5.4%
スパークス・ワンアジア厳選投資ファンドS <適格機関投資家限定>	4.2%
コムジェスト日本株式ファンド (適格機関投資家限定)	4.2%
バンガード® 米国オポチュニティファンド	21.8%
アライアンス・バーンスタインSICAV - コンセントレイテッドUSエクイティ・ポートフォリオ	10.0%
BBH・ルクセンブルグ・ファンズ- BBH・コア・セレクト	9.6%
短期金融資産等	1.9%
合計	100.0%

資産配分状況(2020年4月30日現在)



※資産配分状況は小数点第2位を四捨五入している為、合計が100%にならない場合があります。

参考：上記投資比率の場合、当ファンドの信託報酬率（税込 0.583%/年）を加えた、受益者が負担する実質的な信託報酬率は約 1.44%です。
(実質的な信託報酬率は、投資状況により変化します。)

当資料は受益者へ向けた運用状況の開示ならびにファンドの紹介を目的としてセゾン投信株式会社によって作成された資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。お申込みにあたっては、セゾン投信からお渡しする投資信託説明書（交付目論見書）の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。
当資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。当資料は信頼できると判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性等を保証するものではありません。当資料中のグラフ・数値等は、過去の実績・状況であり、将来の市場環境等や運用成果等を示唆・保証するものではありません。また、税金・手数料等を考慮しておりませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。

セゾン資産形成の達人ファンド 4 月度運用レポート

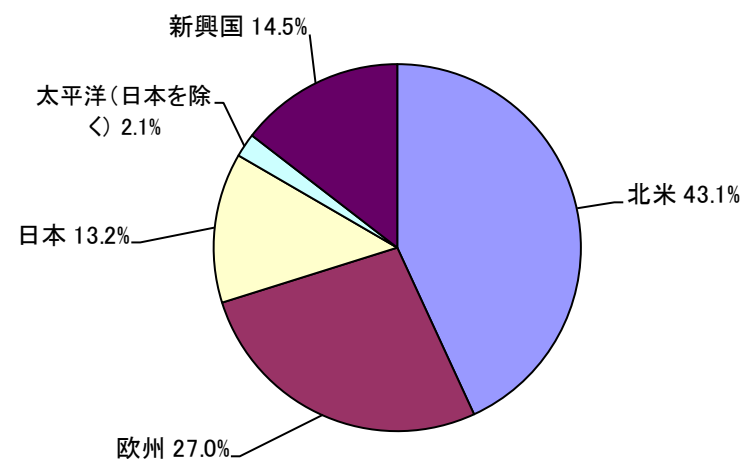
参考：国別投資比率、業種別投資比率（2020年3月31日現在）

セゾン資産形成の達人ファンドの国・地域別投資比率

国別投資比率

※集計の都合により、1ヶ月遅れの情報を掲載しています。

国名	セゾン資産形成の 達人ファンドの 投資比率	MSCI All Country World Indexの時価 総額に基づく比率	差異
アメリカ	43.1%	56.6%	-13.5%
日本	13.2%	7.5%	5.7%
スイス	6.2%	3.1%	3.1%
中国	5.7%	4.9%	0.8%
フランス	5.5%	3.1%	2.4%
オランダ	3.0%	1.2%	1.8%
デンマーク	2.8%	0.6%	2.2%
韓国	2.1%	1.4%	0.7%
ドイツ	2.1%	2.4%	-0.3%
スペイン	2.0%	0.7%	1.2%
イギリス	1.8%	4.3%	-2.5%
香港	1.6%	1.1%	0.6%
インド	1.4%	0.9%	0.5%
ブラジル	1.4%	0.6%	0.8%
イタリア	1.4%	0.6%	0.7%
台湾	1.3%	1.5%	-0.2%
ポルトガル	0.9%	0.1%	0.9%
南アフリカ	0.9%	0.4%	0.4%
スウェーデン	0.8%	0.8%	0.0%
アイルランド	0.7%	0.2%	0.5%
メキシコ	0.6%	0.2%	0.4%
インドネシア	0.5%	0.2%	0.3%
オーストラリア	0.5%	1.7%	-1.2%
トルコ	0.3%	0.1%	0.2%
ロシア	0.1%	0.4%	-0.3%
タイ	0.1%	0.3%	-0.2%
フィリピン	0.1%	0.1%	0.0%
マレーシア	0.1%	0.2%	-0.2%



*セゾン資産形成の達人ファンドの投資比率は短期金融資産や債券等を除いた株式部分に対する投資比率です。また、各計算過程で四捨五入等の処理を行っておりますので、合計が100%とならない場合があります。

*セゾン資産形成の達人ファンドの投資対象の地域は、MSCI の分類を基にセゾン投信株式会社の判断に基づいて分類しています。

当資料は受益者へ向けた運用状況の開示ならびにファンドの紹介を目的としてセゾン投信株式会社によって作成された資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。お申込みにあたっては、セゾン投信からお渡しする投資信託説明書（交付目論見書）の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。

当資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。当資料は信頼できると判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性等を保証するものではありません。当資料中のグラフ・数値等は、過去の実績・状況であり、将来の市場環境等や運用成果等を示唆・保証するものではありません。また、税金・手数料等を考慮しておりませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。

セゾン資産形成の達人ファンド 4 月度運用レポート

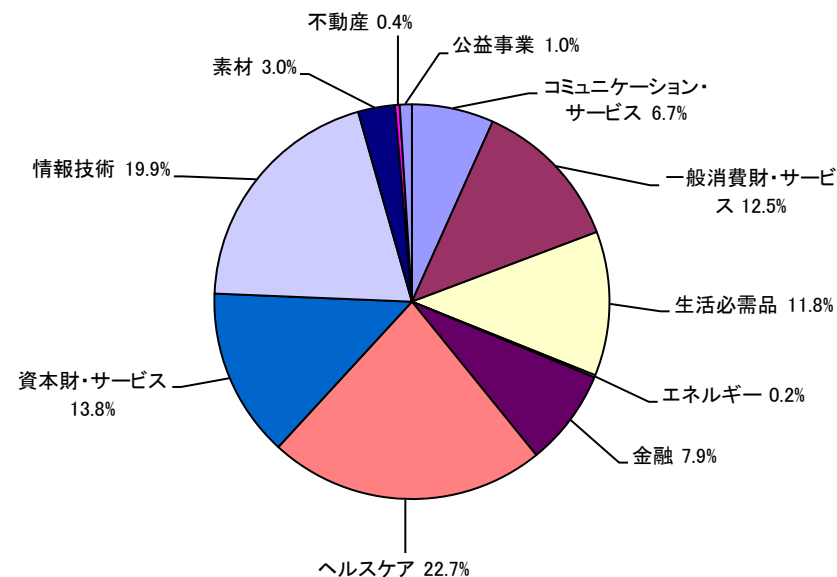
 販売用資料
2020.5.8

業種別投資比率

※集計の都合により、1ヶ月遅れの情報を掲載しています。

業種	セゾン資産形成の 達人ファンドの 投資比率	MSCI All Country World Indexの時価 総額に基づく比率	差異
コミュニケーション・サービス	6.7%	9.3%	-2.6%
一般消費財・サービス	12.5%	10.8%	1.7%
生活必需品	11.8%	8.8%	3.0%
エネルギー	0.2%	3.7%	-3.5%
金融	7.9%	14.4%	-6.6%
ヘルスケア	22.7%	13.3%	9.4%
資本財・サービス	13.8%	9.6%	4.2%
情報技術	19.9%	18.8%	1.1%
素材	3.0%	4.4%	-1.4%
不動産	0.4%	3.1%	-2.8%
公益事業	1.0%	3.6%	-2.6%

セゾン資産形成の達人ファンドの業種別投資比率



*セゾン資産形成の達人ファンドの投資比率は短期金融資産や債券等を除いた株式部分に対する投資比率です。また、各計算過程で四捨五入等の処理を行っておりますので、合計が100%とならない場合があります。

*セゾン資産形成の達人ファンドの業種は、世界産業分類基準（GICS）を基にセゾン投信株式会社の判断に基づいて分類しています。

当資料は受益者へ向けた運用状況の開示ならびにファンドの紹介を目的としてセゾン投信株式会社によって作成された資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。お申込みにあたっては、セゾン投信からお渡しする投資信託説明書（交付目論見書）の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。

当資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。当資料は信頼できると判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性等を保証するものではありません。当資料中のグラフ・数値等は、過去の実績・状況であり、将来の市場環境等や運用成果等を示唆・保証するものではありません。また、税金・手数料等を考慮しておりませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。

セゾン資産形成の達人ファンド 4 月度運用レポート

販売用資料
2020.5.8

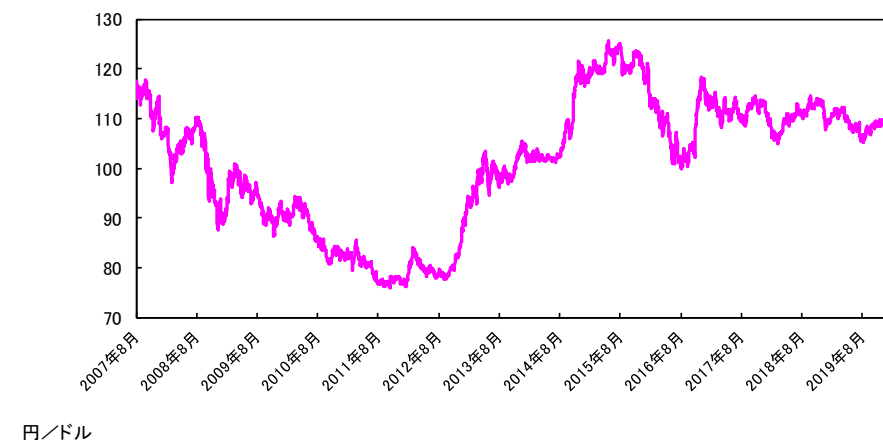
Ⅲ：為替レートの推移

外貨建てファンドの組み入れ開始時（2007年8月15日）からの為替レート

日付	円／ドル
2007年8月15日	117.44
2007年12月28日	114.15
2008年12月30日	91.03
2009年12月30日	92.10
2010年12月30日	81.49
2011年12月30日	77.74
2012年12月28日	86.58
2013年12月30日	105.39
2014年12月30日	120.55
2015年12月30日	120.61
2016年12月30日	116.49
2017年12月29日	113.00
2018年12月28日	111.00
2019年12月30日	109.56
2020年1月31日	109.06
2020年2月28日	109.43
2020年3月31日	108.83
2020年4月30日	106.87
変化率（組入来）	-9.00%
変化率（4月度）	-1.80%

※変化率はプラスが円安、マイナスが円高。小数点第3位を四捨五入

2007年8月15日から2020年4月30日までの為替レートの推移



※投資信託協会発表の評価用為替レートを使用して作成しています。

当ファンドは、原則として対円での為替ヘッジを行いません。

当資料は受益者へ向けた運用状況の開示ならびにファンドの紹介を目的としてセゾン投信株式会社によって作成された資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。お申込みにあたっては、セゾン投信からお渡しする投資信託説明書（交付目論見書）の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。

当資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。当資料は信頼できると判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性等を保証するものではありません。当資料中のグラフ・数値等は、過去の実績・状況であり、将来の市場環境等や運用成果等を示唆・保証するものではありません。また、税金・手数料等を考慮しておりませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。

IV：投資先ファンドの価格（円貨建て）

ファンドへの組入れ開始日の値を 100 とした場合の 2020 年 4 月 30 日現在の値

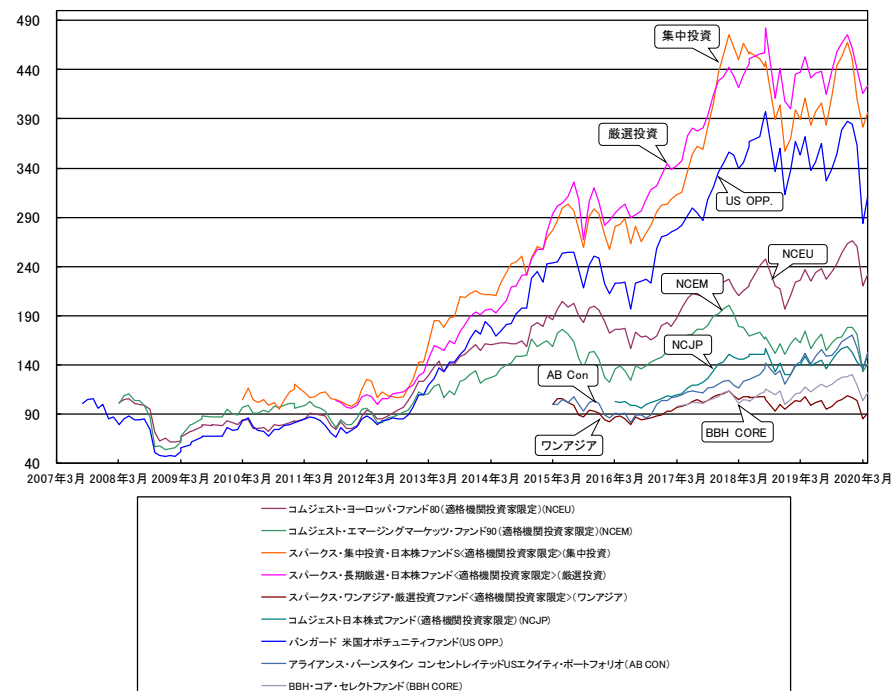
コムジエスト・ヨーロッパ・ファンド80 (適格機関投資家限定)	232.0
コムジエスト・エマージングマーケット・ファンド90 (適格機関投資家限定)	140.8
スパークス・集中投資・日本株ファンドS <適格機関投資家限定>	396.1
スパークス・長期厳選・日本株ファンド <適格機関投資家限定>	424.2
スパークス・ワンアジア厳選投資ファンドS <適格機関投資家限定>	91.1
コムジエスト日本株式ファンド (適格機関投資家限定)	148.6
バンガード 米国オポチュニティファンド	311.5
アライアンス・バーンスタインSICAV - コンセントレイテッドUSエクイティ・ポートフォリオ	151.9
BBH・ルクセンブルグ・ファンズ- BBH・コア・セレクト	111.0

2020 年 3 月 31 日の値を 100 とした場合の 2020 年 4 月 30 日現在の値（4 月の動き）

コムジエスト・ヨーロッパ・ファンド80 (適格機関投資家限定)	105.5
コムジエスト・エマージングマーケット・ファンド90 (適格機関投資家限定)	106.2
スパークス・集中投資・日本株ファンドS <適格機関投資家限定>	103.8
スパークス・長期厳選・日本株ファンド <適格機関投資家限定>	102.0
スパークス・ワンアジア厳選投資ファンドS <適格機関投資家限定>	107.8
コムジエスト日本株式ファンド (適格機関投資家限定)	108.5
バンガード 米国オポチュニティファンド	109.7
アライアンス・バーンスタインSICAV - コンセントレイテッドUSエクイティ・ポートフォリオ	112.4
BBH・ルクセンブルグ・ファンズ- BBH・コア・セレクト	107.6

※指数は小数点以下第2位を四捨五入しています。

組入れ開始以来の投資先ファンドの値の推移（円貨建て）



※バンガード 米国オポチュニティファンドは 2007 年 8 月 15 日、コムジエスト・ヨーロッパ・ファンド 80（適格機関投資家限定）[2018 年 9 月 11 日まではニッポンコムジエスト・ヨーロッパ・ファンド SA（適格機関投資家限定）] は 2008 年 3 月 12 日、コムジエスト・エマージングマーケット・ファンド 90（適格機関投資家限定）[2018 年 9 月 11 日まではニッポンコムジエスト・エマージングマーケット・ファンド SA（適格機関投資家限定）] は 2008 年 3 月 31 日、スパークス・集中投資・日本株ファンド S<適格機関投資家限定>は 2010 年 3 月 19 日、スパークス・長期厳選・日本株ファンド<適格機関投資家限定>は 2011 年 9 月 13 日、アライアンス・バーンスタイン SICAV-コンセントレイテッド US エクイティ・ポートフォリオは 2015 年 3 月 23 日、スパークス・ワンアジア厳選投資ファンド S<適格機関投資家限定>は 2015 年 3 月 24 日、コムジエスト日本株式ファンドは 2016 年 3 月 14 日、BBH・ルクセンブルグ・ファンズ-BBH・コア・セレクトは 2017 年 3 月 14 日の値を 100 として算出しています。価格が外貨建てのファンドは、投資信託協会発表の評価用為替レートを利用して円に換算し、指数を算出しています。[日付は全て当ファンドでの評価日付です]

当資料は受益者へ向けた運用状況の開示ならびにファンドの紹介を目的としてセゾン投信株式会社によって作成された資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。お申込みにあたっては、セゾン投信からお渡しする投資信託説明書（交付目論見書）の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。

当資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。当資料は信頼できると判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性等を保証するものではありません。当資料中のグラフ・数値等は、過去の実績・状況であり、将来の市場環境等や運用成果等を示唆・保証するものではありません。また、税金・手数料等を考慮しておりませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。

セゾン資産形成の達人ファンド 4 月度運用レポート

投資先アクティブ運用ファンドの状況

各比率は、特に指定がない場合、純資産総額に対する比率を表します。また、小数点第2位または第3位を四捨五入している為、合計が100%にならない場合があります。

スパークス・長期厳選・日本株ファンド<適格機関投資家限定>

4 月度の騰落率は、日経平均株価の+6.7%、東証株価指数 (TOPIX) の+4.3%に
対し、スパークス・長期厳選・日本株ファンドは+4.6%でした。3 月末時点の当フ
ァンドにおける資産構成比率、業種別構成比率(上位 5 業種)、上位 10 銘柄は下記
の通りです。また、当ファンドの組入銘柄数は 18 銘柄となっています。

資産構成比率

国内株式	94.6%
現金・その他	5.4%

業種別構成比率(上位 5 業種(東証 33 分類))

	東証33業種	比率(%)
1	電気機器	19.13%
2	化学	13.07%
3	卸売業	8.38%
4	サービス業	7.99%
5	情報・通信業	7.68%

組入上位 10 銘柄※銘柄コード順

銘柄名	業種
花王	化学
テルモ	精密機器
リクルートホールディングス	サービス業
ダイキン工業	機械
日本電産	電気機器
ソニー	電気機器
キーエンス	電気機器
シマノ	輸送用機器
ユニ・チャーム	化学
アニコム ホールディングス	保険業

当資料は受益者へ向けた運用状況の開示ならびにファンドの紹介を目的としてセゾン投信株式会社によって作成された資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。お申込みにあたっては、セゾン投信からお渡しする投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。

当資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。当資料は信頼できると判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性等を保証するものではありません。当資料中のグラフ・数値等は、過去の実績・状況であり、将来の市場環境等や運用成果等を示唆・保証するものではありません。また、税金・手数料等を考慮しておりませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。

スパークス・集中投資・日本株ファンド S<適格機関投資家限定>

4 月度の騰落率は+7.5%でした。3 月末時点の当ファンドのマザーファンドにお
ける資産構成比率、業種別構成比率(上位 5 業種)、上位 10 銘柄は下記の通りです。
また、3 月末時点の当ファンドのマザーファンド組入比率は 100.0%、マザーフ
ァンドの組入銘柄数は 33 銘柄となっています。

(当ファンドは、マザーファンド【スパークス集中投資戦略マザーファンド】を通じて投資を行うファミリーファンド方式で運用しています。)

マザーファンドの状況

資産構成比率

国内株式	91.4%
現金・その他	8.6%

業種別構成比率(上位 5 業種(東証 33 分類))

	東証33業種	比率(%)
1	化学	19.87%
2	ガラス・土石製品	17.62%
3	機械	13.95%
4	電気機器	6.57%
5	卸売業	4.99%

組入上位 10 銘柄 (マザーファンドの組入れ状況) ※銘柄コード順

銘柄名	業種
シップヘルスケアホールディングス	卸売業
関東電化工業	化学
クミアイ化学工業	化学
TOTO	ガラス・土石製品
MARUWA	ガラス・土石製品
三浦工業	機械
オルガノ	機械
全国保証	その他金融業
エフピコ	化学
トーセイ	不動産業

セゾン資産形成の達人ファンド 4 月度運用レポート

販売用資料
2020.5.8

コムジェスト日本株式ファンド (適格機関投資家限定)

4 月度の騰落率は、日経平均株価の+6.7%、東証株価指数 (TOPIX) の+4.3% に対しコムジェスト日本株式ファンドは+10.3%でした。4 月末時点のマザーファンドにおける資産構成比率及び組入上位 10 銘柄と組入比率は下記の通りです。また、4 月末時点の当ファンドのマザーファンド組入比率は 100.0%、マザーファンドの組入銘柄数は 36 銘柄となっております。

(当ファンドは、マザーファンド【コムジェスト日本株式マザーファンド】を通じて投資を行うファミリーファンド方式で運用しています。)

マザーファンドの状況

資産構成比率

国内株式等	98.0%
短期金融資産など	2.0%

組入上位 10 銘柄と組入比率 (マザーファンドの組入れ状況)

銘柄名	業種	国	比率
1 ダイフク	資本財・サービス	日本	4.0%
2 GMOペイメントゲートウェイ	情報技術	日本	3.9%
3 エムスリー	ヘルスケア	日本	3.7%
4 シスメックス	ヘルスケア	日本	3.6%
5 オービック	情報技術	日本	3.6%
6 村田製作所	情報技術	日本	3.5%
7 MonotaRO	資本財・サービス	日本	3.4%
8 リクルートホールディングス	資本財・サービス	日本	3.3%
9 キーエンス	情報技術	日本	3.1%
10 ペプチドリーム	ヘルスケア	日本	3.1%

スパークス・ワンアジア厳選投資ファンド S<適格機関投資家限定>

4 月度の騰落率は、MSCI アジア太平洋 (日本を除く) インデックス (円建て換算) * の+8.1%に対し、スパークス・ワンアジア厳選投資ファンド S は+9.0%でした。3 月末時点の当ファンドのマザーファンドにおける資産構成比率、組入上位 10 銘柄は下記の通りです。また、3 月末時点の当ファンドのマザーファンド組入比率は 100.0%、マザーファンドの組入銘柄数は 40 銘柄となっております。

(当ファンドは、マザーファンド【スパークス・ワンアジア厳選投資マザーファンド】を通じて投資を行うファミリーファンド方式で運用しています。)

マザーファンドの状況

資産構成比率

外国株式	94.1%
現金・その他	5.9%

国別株式投資比率と業種別投資比率

MSCI業種	比率(%)	国名	比率(%)
1 情報技術	17.92%	1 香港	25.63%
2 金融	17.74%	2 中国	20.91%
3 生活必需品	12.12%	3 台湾	13.58%
4 一般消費財・サービス	11.15%	4 オーストラリア	10.09%
5 コミュニケーション・サービス	10.79%	5 韓国	8.42%
6 ヘルスケア	9.01%	6 インドネシア	4.49%
7 資本財・サービス	6.78%	7 インド	3.48%
8 不動産	5.36%	8 タイ	2.30%
9 公益事業	3.28%	9 英国	1.96%
		10 フィリピン	1.80%
		11 マレーシア	1.48%

組入上位 10 銘柄 (マザーファンドの組入れ状況) ※アルファベット順

銘柄名	業種
AIA GROUP LTD	金融
TAIWAN SEMICON MAN	情報技術
TENCENT HLDGS LTD	コミュニケーション・サービス
CSL	ヘルスケア
SAMSUNG ELECTRONIC	情報技術
HONG KONG EXCHANGE	金融
WUXI BIOLOGICS (CA	ヘルスケア
CK ASSET HOLDINGS	不動産
JD COM INC	一般消費財・サービス
GUANGDONG INVEST	公益事業

*MSCI アジア太平洋 (日本を除く) インデックス (円建換算) の騰落率は、MSCI アジア太平洋 (日本を除く) インデックス (ドル建て) を投信協会発表の評価用為替レートを利用して円に換算して算出しております。

当資料は受益者へ向けた運用状況の開示ならびにファンドの紹介を目的としてセゾン投信株式会社によって作成された資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。お申込みにあたっては、セゾン投信からお渡しする投資信託説明書 (交付目論見書) の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。

当資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。当資料は信頼できると判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性等を保証するものではありません。当資料中のグラフ・数値等は、過去の実績・状況であり、将来の市場環境等や運用成果等を示唆・保証するものではありません。また、税金・手数料等を考慮しておりませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。

セゾン資産形成の達人ファンド 4 月度運用レポート

バンガード 米国オポチュニティファンド
(インスティテューショナルシェア・クラス)

4 月度の騰落率（ドルベース）はラッセル 3000 種指数の+13.1%に対し、米国オポチュニティファンドは+12.4%でした。3 月末時点の組入上位 10 銘柄と組入比率、および 3 月末時点の業種別投資比率は下記の通りです。また、3 月末時点の組入銘柄数は 223 銘柄となっています。

資産構成比率

外国株式等	91.6%
現金等	8.4%

組入上位 10 銘柄と投資比率（四半期ごとに更新／上位 10 銘柄の合計：21.9%）

銘柄名	業種	組入比率
1 Eli Lilly & Co.	ヘルスケア	4.5%
2 ABIOMED Inc.	ヘルスケア	2.5%
3 Seattle Genetics Inc.	ヘルスケア	2.3%
4 BioMarin Pharmaceutical Inc.	ヘルスケア	2.0%
5 Alphabet Inc.	コミュニケーション・サービス	2.0%
6 Southwest Airlines Co.	資本財・サービス	1.9%
7 Alibaba Group Holding Ltd.	一般消費財・サービス	1.8%
8 Nektar Therapeutics	ヘルスケア	1.7%
9 Micron Technology Inc.	情報技術	1.6%
10 Biogen Inc.	ヘルスケア	1.6%

業種別投資比率（普通株式への投資に対する割合）

業種	組入比率
1 ヘルスケア	35.9%
2 情報技術	23.2%
3 資本財・サービス	16.2%
4 金融	9.2%
5 一般消費財・サービス	8.4%
6 コミュニケーション・サービス	4.2%
7 エネルギー	0.9%
8 素材	0.4%
9 生活必需品	0.4%
10 不動産	0.0%
11 公益事業	0.0%

アライアンス・バーンスタイン SICAV- コンセントレイテッド US エクイティ・ポートフォリオ（クラス I）

4 月度の騰落率（ドルベース）は S&P500 指数の+12.7%、ラッセル 1000 グロス指数の+14.7%に対し、コンセントレイテッド US エクイティ・ポートフォリオは+15.6%でした。3 月末時点の組入上位 10 銘柄、および業種別投資比率は下記の通りです。また、組入銘柄数は 19 銘柄となっています。

組入上位 10 銘柄（株式への投資に対する割合／上位 10 銘柄の合計：61.48%）

銘柄名	業種	組入比率
1 Microsoft	情報技術	9.49%
2 Mastercard	情報技術	8.61%
3 Abbott Laboratories	ヘルスケア	7.88%
4 IQVIA Holdings	ヘルスケア	6.98%
5 TJX	一般消費財・サービス	5.05%
6 Facebook	コミュニケーション・サービス	4.92%
7 Zoetis	ヘルスケア	4.81%
8 Charles Schwab	金融	4.62%
9 Alphabet	コミュニケーション・サービス	4.61%
10 Verisk Analytics	資本財・サービス	4.51%

業種別投資比率（株式への投資に対する割合）

業種	組入比率
1 情報技術	30.01%
2 ヘルスケア	19.66%
3 一般消費財・サービス	15.86%
4 資本財・サービス	13.20%
5 コミュニケーション・サービス	9.53%
6 金融	4.62%
7 素材	4.09%
8 生活必需品	0.00%
9 エネルギー	0.00%
10 不動産	0.00%
11 公益事業	0.00%

当資料は受益者へ向けた運用状況の開示ならびにファンドの紹介を目的としてセゾン投信株式会社によって作成された資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。お申込みにあたっては、セゾン投信からお渡しする投資信託説明書（交付目論見書）の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。

当資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。当資料は信頼できると判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性等を保証するものではありません。当資料中のグラフ・数値等は、過去の実績・状況であり、将来の市場環境等や運用成果等を示唆・保証するものではありません。また、税金・手数料等を考慮しておりませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。



セゾン資産形成の達人ファンド 4 月度運用レポート

BBH・ルクセンブルグ・ファンズー BBH・コア・セレクト (Iクラス)

4 月度の騰落率（ドルベース）は S&P500 指数の+12.7%に対し、BBH・コア・セレクトは+9.5%でした。3 月末時点の組入上位 10 銘柄、および業種別投資比率は下記の通りです。また、組入銘柄数は 29 銘柄となっています。

資産構成比率

外国株式等	98.4%
現金等	1.6%

組入上位 10 銘柄（上位 10 銘柄の合計：48.4%）

銘柄名	業種	組入比率
Alphabet Inc	コミュニケーション・サービス	7.5%
Berkshire Hathaway Inc	金融	6.6%
Oracle Corp	情報技術	5.5%
Copart Inc	資本財・サービス	4.6%
Zoetis Inc	ヘルスケア	4.5%
Mastercard Inc	情報技術	4.3%
Arthur J Gallagher&Co	金融	4.0%
Alcon Inc	ヘルスケア	4.0%
Linde PLC	素材	3.7%
Diageo Plc	生活必需品	3.6%

業種別投資比率

業種	組入比率
ヘルスケア	19.6%
生活必需品	16.3%
情報技術	15.0%
資本財・サービス	13.4%
金融	10.8%
コミュニケーション・サービス	10.4%
一般消費財・サービス	8.3%
素材	6.2%
エネルギー	0.0%
不動産	0.0%
公益事業	0.0%

当資料は受益者へ向けた運用状況の開示ならびにファンドの紹介を目的としてセゾン投信株式会社によって作成された資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。お申込みにあたっては、セゾン投信からお渡しする投資信託説明書（交付目論見書）の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。

当資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。当資料は信頼できると判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性等を保証するものではありません。当資料中のグラフ・数値等は、過去の実績・状況であり、将来の市場環境等や運用成果等を示唆・保証するものではありません。また、税金・手数料等を考慮しておりませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。

セゾン資産形成の達人ファンド 4 月度運用レポート

コムジエスト・ヨーロッパ・ファンド 80 (適格機関投資家限定)

4 月度の騰落率は MSCI ヨーロッパ・インデックス (円建て換算) *の+6.7%に対し、コムジエスト・ヨーロッパ・ファンド 80 は+4.7%でした。4 月末時点のマザーファンドにおける資産構成比率及び組入上位 10 銘柄と組入比率は下記の通りです。また、4 月末時点の当ファンドのマザーファンド組入比率は 100.0%、マザーファンドの組入銘柄数は 42 銘柄となっております。

(当ファンドは、マザーファンド【ニッポンコムジエスト・ヨーロッパ マザーファンド】を通じて投資を行うファミリーファンド方式で運用しています。)

マザーファンドの状況

資産構成比率

外国株式等	92.0%
短期金融資産など	8.0%

組入上位 10 銘柄と組入比率 (マザーファンドの組入れ状況)

	銘柄名	業種	国	比率
1	ROCHE HOLDING AG-GENUSSCHEIN	ヘルスケア	スイス	5.6%
2	NOVO NORDISK A/S-B	ヘルスケア	デンマーク	4.9%
3	ASML HOLDING NV	情報技術	オランダ	4.5%
4	HEINEKEN NV	生活必需品	オランダ	3.8%
5	ESSILORLUXOTTICA	一般消費財・サービス	フランス	3.5%
6	AMADEUS IT GROUP SA	情報技術	スペイン	3.4%
7	LONZA GROUP ORD	ヘルスケア	スイス	3.3%
8	LINDT & SPRUENGLI AG-PC	生活必需品	スイス	3.2%
9	SAP SE	情報技術	ドイツ	3.1%
10	STRAUMANN HOLDING AG-REG	ヘルスケア	スイス	3.0%

*MSCI ヨーロッパ・インデックス (円建て換算) の騰落率は、MSCI ヨーロッパ・インデックス (ユーロ建て) を投信協会発表の評価用為替レートを利用して円に換算して算出しております。

コムジエスト・エマージングマーケット・ファンド 90 (適格機関投資家限定)

4 月度の騰落率は MSCI エマージング・マーケット・インデックス (円建て換算) *の+8.5%に対し、コムジエスト・エマージングマーケット・ファンド 90 は+8.8%でした。4 月末時点のマザーファンドにおける資産構成比率及び組入上位 10 銘柄と組入比率は下記の通りです。また、4 月末時点の当ファンドのマザーファンド組入比率は 100.0%、マザーファンドの組入銘柄数は 39 銘柄となっております。

(当ファンドは、マザーファンド【ニッポンコムジエスト・エマージングマーケット マザーファンド】を通じて投資を行うファミリーファンド方式で運用しています。)

マザーファンドの状況

資産構成比率

外国株式等	97.3%
短期金融資産など	2.7%

組入上位 10 銘柄と組入比率 (マザーファンドの組入れ状況)

	銘柄名	業種	国	比率
1	PING AN INSURANCE GROUP CO-H	金融	中国	6.5%
2	NETEASE INC ADR	コミュニケーションサービス	中国	6.0%
3	SAMSUNG ELECTRONICS CO., LTD.	情報技術	韓国	5.4%
4	TAIWAN SEMICONDUCTOR-SP ADR	情報技術	台湾	5.0%
5	HENGAN INTERNATIONAL GROUP COMPANY LIMITED	生活必需品	中国	4.4%
6	NCISOFT CORPORATION	コミュニケーションサービス	韓国	3.7%
7	COGNIZANT TECHNOLOGY SOLUTION A ORD	情報技術	アメリカ	3.7%
8	POWER GRID CORP OF INDIA LTD	公益事業	インド	3.4%
9	AIA GROUP LTD	金融	香港	3.4%
10	NAVER CORPORATION	コミュニケーションサービス	韓国	3.2%

*MSCI エマージング・マーケット・インデックス (円建て) の騰落率は、MSCI エマージング・マーケット・インデックス (ドル建て) を投信協会発表の評価用為替レートを利用して円に換算して算出しております。

当資料は受益者へ向けた運用状況の開示ならびにファンドの紹介を目的としてセゾン投信株式会社によって作成された資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。お申込みにあたっては、セゾン投信からお渡しする投資信託説明書 (交付目録見書) の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。

当資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。当資料は信頼できると判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性等を保証するものではありません。当資料中のグラフ・数値等は、過去の実績・状況であり、将来の市場環境等や運用成果等を示唆・保証するものではありません。また、税金・手数料等を考慮しておりませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。



セゾン資産形成の達人ファンド 4 月度運用レポート

■ファンドの特色

- ・世界への幅広い分散投資
投資対象ファンドを通じて主として世界の株式に幅広く分散投資します。株式市場が過熱により有望な投資機会がないと判断した場合は、一部債券への投資を行うことがあります。
- ・厳選したファンドへの投資
各地域に強みを持つ運用会社を厳選し投資対象ファンドとします。また、投資対象ファンドは全てアクティブファンドとなります。資産配分比率は、各国の株式市場の規模を考慮しつつも投資対象地域を幅広く分散すること、企業が収益を上げる地域もバランスよく分散されることを意識しております。
- ・長期的な視点に立った運用スタイル
価格以上に価値があると考えられる投資対象に選別投資を行い、成果が上がるまで時間をかけて待つ運用スタイルをとり、長期的な資産形成に適したファンドを目指します。

■投資対象ファンドの選定条件

- ・ファンダメンタル分析に基づいて運用されていること。
- ・長期的な視点で運用されていること。
- ・手数料が適正なこと。

当資料は受益者へ向けた運用状況の開示ならびにファンドの紹介を目的としてセゾン投信株式会社によって作成された資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。お申込みにあたっては、セゾン投信からお渡しする投資信託説明書（交付目論見書）の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。

当資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。当資料は信頼できると判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性等を保証するものではありません。当資料中のグラフ・数値等は、過去の実績・状況であり、将来の市場環境等や運用成果等を示唆・保証するものではありません。また、税金・手数料等を考慮しておりませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。

セゾン資産形成の達人ファンド 4 月度運用レポート

■現在の組入れ対象ファンドについて

①バンガード 米国オポチュニティファンド

主要投資対象：主に米国の株式に投資します。

運用方針：平均を上回る潜在的な収益成長力がありながら、その企業価値がまだ市場価格に反映されていない銘柄へ投資することで、ファンド資産の長期的成長を目指します。

②コムジェスト・ヨーロッパ・ファンド80（適格機関投資家限定）

主要投資対象：マザーファンドを通じて主にヨーロッパ諸国の株式に投資します。

運用方針：高い利益成長率が期待できる企業に集中投資し、長期保有することにより高いリターンを目指します。投資先の企業の短期的な株価の値動きではなく、その企業の中長期的な利益成長に対して投資を行います。

③コムジェスト・エマージングマーケット・ファンド90（適格機関投資家限定）

主要投資対象：マザーファンドを通じて主に新興諸国の株式に投資します。

運用方針：高い利益成長率が期待できる企業に集中投資し、長期保有することにより高いリターンを目指します。新興国市場では様々なリスクが存在するため、健全な財務体質であることや透明なディスクロージャーを行っていることなどを重視し、長期的に信頼できる企業に選別投資を行ないます。

④スパークス・集中投資・日本株ファンドS<適格機関投資家限定>

主要投資対象：マザーファンドを通じて国内の株式に投資します。

運用方針：ベンチマークや業種にとらわれず、魅力的と判断した国内の株式に集中投資を行い、信託財産の中長期的な成長を目指して、積極的な運用を行います。長期的な投資時間軸を持つことで、マーケットに埋もれている投資機会の発掘に努めます。

⑤スパークス・長期厳選・日本株ファンド<適格機関投資家限定>

主要投資対象：わが国の株式を主要投資対象とします。

運用方針：わが国の金融商品取引所に上場している株式の中から、ベンチマークは設けず 20 銘柄程度に厳選投資を行い、原則として短期的な売買は行わず長期保有することを基本とします。

⑥アライアンス・バースタイン SICAV-コンセントレイテッド US エクイティ・ポートフォリオ(*本レポートでは「米国株式集中投資ファンド」と記載する場合があります)

主要投資対象：主に米国株式に投資します。

運用方針：非常に質が高く成長が期待できると判断する厳選された米国企業の株式等から構成されるアクティブ運用型の集中投資ポートフォリオに投資します。

⑦スパークス・ワンアジア厳選投資ファンドS<適格機関投資家限定>

主要投資対象：マザーファンドを通じて、日本を除くアジア・オセアニア地域の取引所に上場している株式等への投資を行います。

運用方針：個別銘柄調査に基づき、企業のビジネスの質や市場の成長性、経営に着目して、企業価値よりも株価が割安に放置されていると考えられる銘柄に選別投資します。

⑧コムジェスト日本株式ファンド（適格機関投資家限定）

主要投資対象：マザーファンドを通じて、日本の株式に投資します。

運用方針：高い利益成長率が期待できる企業に集中投資し、長期保有することにより高いリターンを目指します。投資先の企業の短期的な株価の値動きではなく、その企業の中長期的な利益成長に対して投資を行います。

⑨BBH・ルクセンブルグ・ファンズ-BBH・コア・セレクト

主要投資対象：主に米国株式市場に上場された中・大型株式に投資します。

運用方針：BBH が定めた 6 つの厳格な投資基準を満たす企業の株式をベースにユニバースを構成し、その中から割安と判断される約 25~30 銘柄のみを選択して集中投資を行います。

当資料は受益者へ向けた運用状況の開示ならびにファンドの紹介を目的としてセゾン投信株式会社によって作成された資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。お申込みにあたっては、セゾン投信からお渡しする投資信託説明書（交付目論見書）の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。

当資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。当資料は信頼できると判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性等を保証するものではありません。当資料中のグラフ・数値等は、過去の実績・状況であり、将来の市場環境等や運用成果等を示唆・保証するものではありません。また、税金・手数料等を考慮しておりませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。

セゾン資産形成の達人ファンド 4 月度運用レポート

■お申込みメモ

- 購入単位：販売会社が定める単位とします。
 - 購入価額：購入申込受付日の翌々営業日の基準価額
 - 換金単位：1口単位 ※販売会社により1円単位でのお申込みとなる場合があります。詳細は販売会社までお問い合わせください。
 - 換金価額：換金申込受付日の翌々営業日の基準価額から信託財産留保額を控除した価額
 - 換金代金：原則として、換金申込受付日から起算して6営業日目から販売会社において支払います。
 - 購入・換金申込日：原則として、毎営業日に申込みを受付けます。ただし、ニューヨーク、ロンドンの証券取引所休業日、ニューヨーク、ロンドン、アイルランドの銀行休業日のいずれかに該当する日には受付を行いません。
 - 申込締切時間：原則として、午後3時までに受付けた申込み（当該申込みの受付に係る販売会社所定の事務手続きが完了したものを）当日の申込みとします。
 - 信託期間：無期限（設定日：2007年3月15日）
 - 繰上償還：以下の場合には、法令および信託約款に定める手続きにしたがい、受託会社と合意のうえ、ファンドを償還することがあります。
 - ・受益権の口数が10億口を下回るようになった場合。
 - ・信託期間中において、ファンドを償還させることが受益者のために有利であると認めるとき、またはやむを得ない事情が発生したとき。
 このほか、監督官庁よりファンドの償還の命令を受けたとき、委託会社の登録の取消・解散・業務廃止のときは、原則としてファンドを償還させます。
 - 決算日：毎年12月10日（休業日の場合は翌営業日）
 - 収益分配：毎決算時（毎年12月10日の年1回。休業日の場合はその翌営業日。）に収益分配方針に基づき分配を行います。
 - ・委託会社の判断により分配を行わない場合もあります。
 - ・当ファンドは、分配金再投資専用とします。収益分配金は、所得税、復興特別所得税および地方税を控除した後、再投資されます。
 - 課税関係：課税上は、株式投資信託として取り扱われます。益金不算入制度、配当控除の適用はありません。公募株式投資信託は税法上、「NISA」（少額投資非課税制度）および「ジュニア NISA」（未成年者少額投資非課税制度）の適用対象です。当ファンドは「つみたて NISA」（非課税累積投資契約に係る少額投資非課税制度）の適用対象です。
- ※詳細は投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。税法等が改正された場合には、上記内容が変更になる場合があります。

■当ファンドに係るリスクについて

◆基準価額の変動要因

当社の運用、販売するファンド（以下、当ファンド）はファンド・オブ・ファンズであり、主として投資信託証券に投資を行います。当ファンドは、株式や公社債を実質的な主要投資対象としております。一般に、株式の価格は、個々の企業の活動や業績、市場・経済の状況等を反映して変動し、また、公社債の価格は、市場金利の変動等を受けて変動するため、当ファンドはその影響を受けます。（「価格変動リスク」）また、当ファンドは、実質的に外貨建資産に投資し、原則として為替ヘッジを行いませんので、為替変動の影響を受けます。（「為替変動リスク」）その他の当ファンドにおける基準価額の変動要因としては、「カントリーリスク」、「信用リスク」、「流動性リスク」などがあります。したがって、投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により投資元本を割り込むことがあります。運用による損益は、すべてお客さまに帰属します。当ファンドは預貯金とは異なり、投資元本が保証されているものではなく、一定の投資成果を保証するものではありません。

◆その他のご留意点

当ファンドは、預金や保険契約と異なり、預金保険機構、貯金保険機構、および保険契約者保護機構の保護対象ではありません。加えて証券会社を通じて購入していない場合には、投資者保護基金の対象となりません。投資信託の設定・運用は委託会社がおこないます。

当資料は受益者へ向けた運用状況の開示ならびにファンドの紹介を目的としてセゾン投信株式会社によって作成された資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。お申込みにあたっては、セゾン投信からお渡しする投資信託説明書（交付目論見書）の内容を必ずご確認ください。

当資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。当資料は信頼できると判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。当資料中のグラフ・数値等は、過去の実績・状況であり、将来の市場環境等や運用成果等を示唆・保証するものではありません。また、税金・手数料等を考慮しておりませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。

セゾン資産形成の達人ファンド 4 月度運用レポート

■当ファンドに係る費用について

投資者が直接的に負担する費用

- 購入時手数料：ありません。
- 信託財産留保額：換金申込受付日の翌々営業日の基準価額に 0.1% の率を乗じた額が控除されます。

投資者が信託財産で間接的に負担する費用

- 運用管理費用：ファンドの日々の純資産総額に年 0.583%（税抜 0.53%）の率を乗じて得た額とします。その他投資対象である投資信託証券において信託報酬がかかります。当該信託報酬も間接的にお客さまにご負担いただく費用となりますので、実質的な信託報酬は、年 1.35%±0.2%程度（税込）となります。
- ※ファンドが投資対象とする投資信託証券における信託報酬を加味した実質的な負担額の概算値です。各投資信託証券への投資比率、各投資信託証券の運用管理費用の料率の変更等により変動します。
- その他費用：信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用（有価証券の売買の際に発生する手数料や、有価証券の保管に要する費用等を含む）、監査報酬（消費税含む）、立替金の利息等が信託財産の中から差し引かれます。なお、当該その他費用については、運用状況により変動するものであり、事前に計算方法、上限額等を示すことができません。

ダウ・ジョーンズ工業株価平均、S&P500、S&P/ASX200 指数、S&P/BSE SENSEX インデックスは、S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス（S&P DJI）の商品です。これらの指数に関する著作権等の知的財産権その他一切の権利は、S&P DJI に帰属します。

S&P DJI は当指数等の情報に関し、その正確性・妥当性・完全性あるいは入手可能性を保証しません。また、S&P DJI は当指数等の情報の誤り、欠落についてその理由のいかんにかかわらず責任を負いません。また当指数等の使用による結果に対しても責任を負うものではありません。S&P DJI は当指数等の商品性あるいはその使用または特定の目的に対する適合性を含みますが、それに限定されるわけではなく、一切の明示的あるいは黙示的な保証を否認します。S&P DJI はファンドの受益者や他の人物等による当指数等の使用に関連したいかなる間接的、直接的な、特別なあるいは派生的な損害、費用、訴訟費用あるいは損失（収入の損失、利益の損失、機会費用を含む）について一切の責任を負いません。

MSCI Index に関する著作権、知的財産権その他の一切の権利は MSCI に帰属します。また、MSCI は指数の内容を変更する権利及び公表を停止する権利を有しています。

本文中のデータは、Bloomberg から取得しています。

委託会社：セゾン投信株式会社
 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第 349 号
 加入協会：一般社団法人 投資信託協会
 お客さま窓口：03-3988-8668
 営業時間 9：00～17：00（土日祝日、年末年始を除く）
<https://www.saison-am.co.jp/>

当資料は受益者へ向けた運用状況の開示ならびにファンドの紹介を目的としてセゾン投信株式会社によって作成された資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。お申込みにあたっては、セゾン投信からお渡しする投資信託説明書（交付目論見書）の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。

当資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。当資料は信頼できると判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性等を保証するものではありません。当資料中のグラフ・数値等は、過去の実績・状況であり、将来の市場環境等や運用成果等を示唆・保証するものではありません。また、税金・手数料等を考慮しておりませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。